

内山工業株式会社（岡山県）

～ 特許取得で事業の独占を狙う ～

1. 特許により製品の優位性の確保

内山工業株式会社は、自動車用ガスケット、シール、建材、王冠・キャップの製造、販売を業として、国内業界トップクラスのメーカーへと躍進した企業である。

同社の創業は明治31年で、コルク栓の製造を行うため「内山コロッツ製造処」を興したことが始まりである。その後、次々にコルク製品を開発し、コルク業界でトップメーカーとなっている。その後、合成ゴム製品の製造を事業に加えるとともに、昭和31年には法人組織となり現在に至っている。

同社の主要製品は、自動車部品に用いられるガスケット材やベアリングシール材などの中間製品であり、コスト面で厳しい環境にある。従って、競争に勝ち抜くためには製品の優位性を確保することが重要であり、そのためにも特許取得は欠かせないという認識の基に、業界のニーズを先取りし、特許取得を行って事業の独占を図っている。

2. 技術を支える研究開発体制

同社は、新しい製品・技術の開発に市場ニーズの調査や技術シーズの調査は欠かすことができないとの考えから、最新のニーズ・シーズを敏感にキャッチし、製品づくりに活かしている。

そのために、先行技術調査を積極的に行い、他社動向を含めた特許情報の社内共有を図るとともに、特に競合他社と得意先の動向は最重要情報として捉え、他社特許一件ごとに対策を立てている。

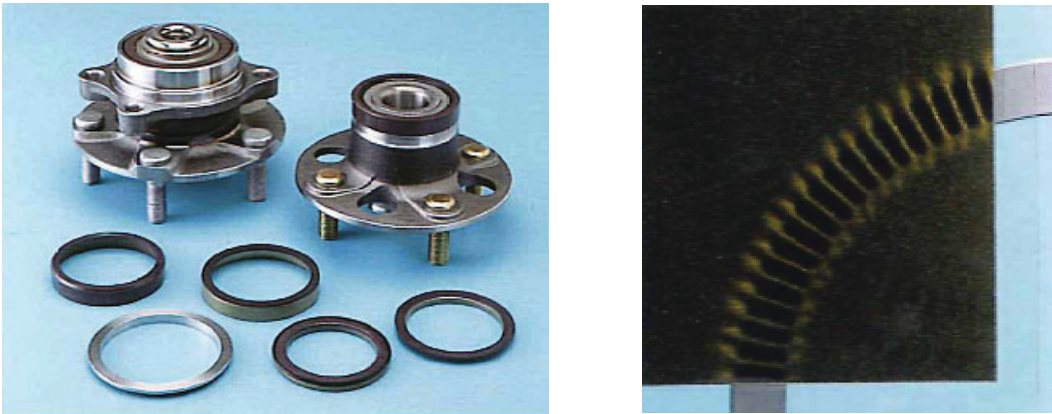
3. 様々な取組みで技術を守る

同社は、製造方法に関する技術を徹底的にノウハウ化とする方針を取っている。

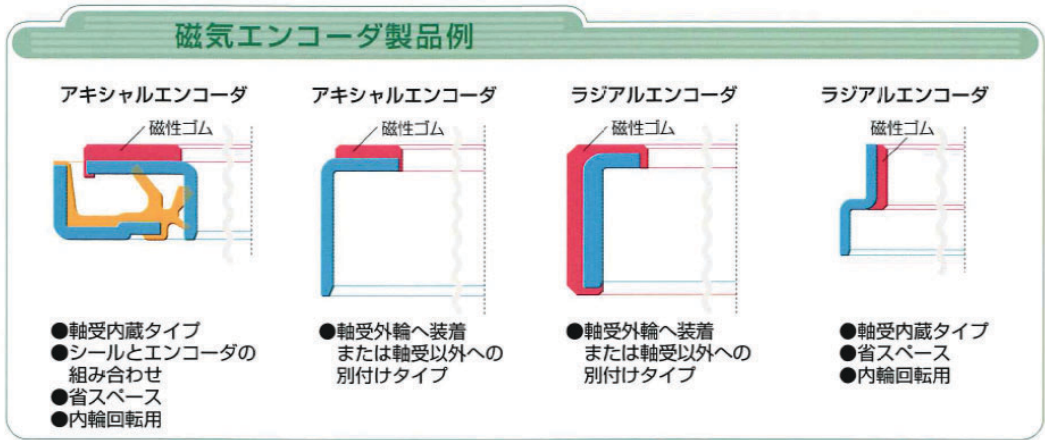
また、重要技術について、権利取得しても大手企業にその周辺特許を取得されるケースが多く、対応に苦慮している。そのため、状況に応じてライセンス供与や係争を織り交ぜて対応している。

また、社員に対しては、職務発明の報奨金等について、判例等の世の動向をすばやく取り入れて対応するよう努めるとともに、知的財産についての社員教育・意識啓発を実施する等、環境整備と人材育成を図っている。

【保有権利に基づく製品例】



回転検出装置を有するベアリングシール（磁気エンコーダ）
（特許第2816783号）



<会社概要>

名称及び代表者名	内山工業株式会社 代表取締役社長 内山 幸三
本社所在地	岡山県岡山市小橋町2-1-10
創業	1898（明治31）年
資本金	1億2,000万円
従業員数	709名
主要製品	工業用ゴム製品 製造販売
電話	086-272-7557
URL	http://www.umc-net.co.jp/umc/umc/